

シルバー派遣会員の 研修を実施

10月23日(火)派遣会員を対象とした「接遇マナー」の研修を有隣興業㈱の宮前昌美様を講師に招いて実施しました。

この研修は、派遣会員に対して教育訓練を実施することが派遣元に義務付けられた研修であり、「マナーとは何か」参加した会員12名は真剣に取り組んでいました。



ドライバードッグの 講習会に参加

講習会に参加

10月22日(月)に第一回目のドライバードッグ(安全運転講習会)が秩父中央自動車学校に於いて実施され、秩父市シルバー会員35名が参加しました。

講習の内容は、忘れかけていた自動車運転の基本を思い出すとともに、身体能力の低下、運動機能の変化を自覚していただくことを目的とした講習で、秩父警察署交通課交通総務係長からは、「きらめき3H運動」として「早めのライト」、「反射板の着用」、「歩行者保護」の話があり、記憶テストも行いました。その後、教習所のコースを利用して参加者全員が教官を横に自動車の運転も体験しました。



本庄市シルバーまつりに参加

10月28日(日)本庄市シルバー人材センターにおいて開催された「本庄市シルバーまつり」に、まんじゅう班及び農園班が参加し、まんじゅうは完売、農園班のみそポテトもほぼ完売となりました。



フレイル予防教室を 各委員会で実施

「フレイル」とは、加齢とともに筋力や認知機能が衰え、心や体の機能が低下した状態のこととで、進行すると要介護状態となる可能性が高くなります。

このフレイル予防のポイントには、高齢者の生活習慣病の予防に加え、「いろいろな食品をバランスよく食べ(栄養)、よく体を

動かし(体力)、地域や社会との関わりを持ち続けること(社会)で老化防止、健康寿命を延ばすことを目的としており、この事業を実施することにより会員の皆様のますますの活躍が期待でき、また一般の方を対象にした予防教室も実施することにより、シルバー人材センターの会員の獲得にもつながると考えられますので、フレイル予防教室の実施に向け取り組んでいます。

そこで、まずは会員の皆様にも実際に体験していただければと思い、各委員会開会前、閉会后、及びシルバーまつり反省会閉会后にフレイル予防サポーター研修を受講したメンバーにより、30分間の予防教室を行いました。



新会員紹介

次の方たちが新しく仲間になりました。よろしくお願ひします。(敬称略)

- 九月 山崎 邦夫 福田 陽一
- 野口 久恵 高橋 一夫
- 十月 江田 栄 石井 君代

お知らせ

植木剪定研修

日時 12月4日(火)
午前9時～午後4時
会場 秩父市下水道センター
内容 松の剪定他
受講者 会員30名程度

※当日は、作業のできる服装で、剪定道具、梯子、弁当持参。
雨天の場合は5日に順延します。
なお、剪定道具のない方は貸与します。



親睦会新年懇親会のご案内

日時 平成31年1月18日(金)
午後6時
会場 農園ホテル
※会費を含め詳細は後日お知らせします。

ゴミ拾いボランティア

日時 12月4日(火) 午前8時
集合 福祉女性会館

※福祉女性会館から秩父神社まで行きます。
軍手、火ばさみ等はこちらで用意します。

希望者は11月30日(金)までにお申し込みください。皆様の参加をお待ちしております。

農園班が

お祭り用野菜を販売

日時 11月30日(金)
午前9時～11時
場所 福祉女性会館横
無人野菜販売所



囲碁・将棋クラブ 日程

日時 1月19日、2月9日、
2月23日、3月9日、
3月23日、4月13日、
いずれも土曜日
午後1時～5時

※会員募集中!

初めての方もこの機会に始めてみましょう。



会員だより

秩父地方の城跡を巡って五

上林 靖男

秩父地方の城跡巡り、五回目の今回は皆野町下日野沢字道三と字龍ヶ谷にまたがる高松城跡を紹介したい。

高松城跡は日野沢川と金沢川に挟まれた、北に山の神山(標高371m)が控え天然の要害を形づくっている山城である。城跡への登り口はJ Aマイタケ工場前の高松大神入口から入っていくのと町営バス日野沢線の若浜バス停から入る二つのコースがある。城跡があった山頂は秩父セメントによる珪石採掘により往時の面影は残っていない。採掘に先立つ昭和50年、発掘調査が行われた。発掘された建造物の遺構は、二棟の建造物跡、六ヶ所の空堀、井戸跡。出土遺物は武器類、生活用具類、備蓄食糧、銭貨等多岐に渡った。採掘のため城跡は無残な姿に変貌しているが、周辺には旗塚(鳩塚)という標高338mの急峻な山がある。ここは物見砦であり、連絡のための狼煙場である。北方には城を真下に見下ろす山

の神山があり、その山頂には守護神である利勝法大神を祭っている。その他、城にまつわるものとして火燈峠、天神砦(高松城出丸)、鎧の宮、千廼宮などがある。

さて、高松城主・逸見若狭守は鉢形城・北条氏邦の侍大将を勤め、鉢形城内の三の丸に館を有し、家老らと軒を並べ、その館付近は逸見郭と呼ばれていた。鉢形落城の後、野巻村に隠遁し、子孫は代々里正を勤めた。また国神の大通院は高松山大通院といい、高松城主・逸見若狭守義綱の開基である。寺の入定谷には逸見若狭守夫妻と子の義久の墓と言われている家型墓石が並んでいる。更に、野巻の薬王寺裏手に『やぐら』があり、中の五輪塔二基は逸見蔵人夫妻の墓と言われている。



お詫びと訂正

号ご誤りにお詫びいたします。
10月芳名「バザー協力者」がありました。
【誤】横田みよ子
【正】横山みよ子